

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	健康福祉総務課
	施策	地域福祉の推進		電話番号	087-839-2372
	基本事業	地域福祉活動の充実		事業実施主体	市
	事務事業	社会福祉団体活動助成事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	高松市社会福祉協議会及び社会福祉諸団体に対し、行政では対応し難い福祉需要への多様な取組みに対し、社会福祉法に基づく財政支援を行い、地域福祉の推進を図る。		
2年度概要	社会福祉の向上を図るため、高松市社会福祉協議会及び社会福祉諸団体（3団体）の事業に対し、補助金を交付するとともに、たすけ合い金庫資金を貸し付ける。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	


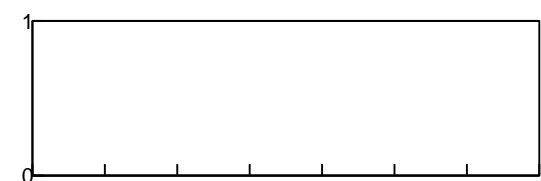
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	地域住民の日常生活上の諸問題の解消、軽減を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
補助金交付団体数	団体	5	5	5	5	5

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
相談件数	件	目標値	220	220	220	220	220
		実績値	218	283	304		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	<p>相談件数の多少で評価できるものではないが、目標値に概ね到達しており、財政支援を行うことにより相談事業を始めとする多様な取組みに努めてもらっている。</p> 						<p>(達成度)</p> <p>138.2%</p> <p>35点</p>
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	<p>(目標達成度)</p> 						<p>(達成度)</p>

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[円]	119,779	134,289	132,239	127,860
（事業費）	[円]	114,468	129,752	128,445	124,066
（職員人件費）	[円]	5,311	4,537	3,794	3,794

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
各団体に財政的支援を行うことにより、地域福祉の推進の図ることができた。今後、補助金額の減額について検討していく。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
厳しい財政事情を踏まえ、補助金の削減について各団体と検討していく。高松市社会福祉協議会については、平成30年度から経営赤字に対する人件費の強化分を増額しているが、経営黒字に転じた場合は平成29年度と同額程度の補助とする予定である。			

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	健康福祉総務課
	施策	地域福祉の推進		電話番号	087-839-2372
	基本事業	地域福祉活動の充実		事業実施主体	市
	事務事業	戦争犠牲者追悼式等事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	日華事変（日中戦争）以降における戦没者、高松市戦災（高松空襲）犠牲者及び外地犠牲者等の御霊10,664柱を祭祀するため追悼式典を開催する。また、慰霊事業の推進のため、37地区遺族会及び2遺族団体に事業補助金を交付する。		
2年度概要	1 令和2年度高松市戦争犠牲者追悼式 ・日時、場所 令和2年10月6日 サンポートホール高松3階大ホール ・事由 日華事変（日中戦争）以降における戦没者、高松市戦災（高松空襲）犠牲者及び外地犠牲者等の御霊10,664柱を祭祀 ・周知方法 案内状発送 広報掲載 関係3団体に周知		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象（何を）	戦争犠牲者
意図（どのような状態にしたいか）	戦争犠牲者の冥福を祈り、戦争の悲惨さと平和の尊さを再認識する場を提供することにより、二度と戦争を繰り返さない社会の実現を目指す。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R2	中期目標 R2
追悼式案内状配布件数	通	3,767	3,721	3,588	3,600	3,261

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R2	中期目標 R2
成果指標	追悼式参列者率	%	目標値	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1
			実績値	8.8	9.4	8.9		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 遺族以外の関係団体等にも案内することで、例年並の参列者があり、目標どおりに達成することができた。 (目標達成度)							(達成度) 109.9% 35点
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[円]	8,222	8,116	7,433	7,418
（事業費）	[円]	3,670	3,579	3,639	3,624
（職員人件費）	[円]	4,552	4,537	3,794	3,794

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

昨年度はほぼ例年通りの参列者だったが、今後は遺族の高齢化により徐々に参列者数が減少することが見込まれる。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

今後も参列者数が減少することが見込まれていることから、参列者数が大幅に減少するようであれば、小規模な会場への変更や、事業のあり方自体を検討する必要がある。

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	健康福祉総務課
	施策	地域福祉の推進		電話番号	087-839-2372
	基本事業	地域福祉活動の充実		事業実施主体	市
	事務事業	災害援護事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者など避難行動要支援者に対して災害情報の提供や避難等の手助けが地域の中で素早く安全に行われる体制づくりの推進及び災害が生じた場合の支援等の援護事業		
2年度概要	災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者など避難行動要支援者に対して、災害情報の提供や避難等の手助けが地域の中で素早く安全に行われる体制づくりの推進及び災害が生じた場合の支援等の援護事業		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	


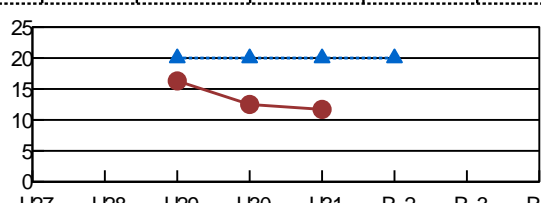
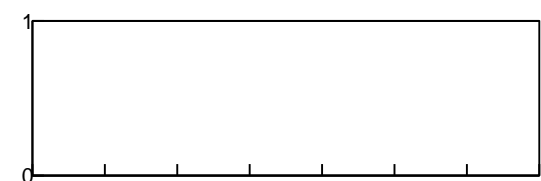
【事業の目的】

対象(何を)	要介護認定3～5の人など災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者の方などの避難行動要支援者。
意図(どのような状態にしたいか)	災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者の人など(避難行動要支援者)に対して、災害情報の提供や避難等の手助けが地域の中で素早く、安全に行われる体制づくりを推進する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H29	H30	H31	R2	中期目標 R2
避難行動要支援者新規登録希望調査票発送数	件	4,647	4,779	4,531	5,000	5,000

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H29	H30	H31	R2	中期目標 R2
避難行動要支援者新規登録率	%	目標値	20	20	20	20	20
		実績値	16.3	12.5	11.7		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 平成31年度における避難行動要支援者登録対象者4,531人に対して申請書を送付したところ、2,532人から返信があり、530人の登録希望があった。登録率は11.7%にとどまり、目標値としていた20%を下回った。 							(達成度) 58.5% 20点
成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H29	H30	H31	R2	中期目標 R2
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	平成31年度(決算)	令和2年度(予算)
トータルコスト	[円]	15,638	14,700	11,975	14,022
(事業費)	[円]	2,740	4,113	2,111	4,158
(職員人件費)	[円]	12,898	10,587	9,864	9,864

【評価】

評価ランク (A～D)	C	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

避難行動要支援者名簿を平時から整備し、地域支援組織と情報共有しているが、昨年度に引き続き、地域コミュニティ協議会与連携し、登録情報の更新等に取り組んだ。今後も、協議会と連携し、地域の共助、防災意識を高め、名簿登録率の向上等につなげたい。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

避難行動要支援者名簿の情報更新に係る制度改善を、地域コミュニティ協議会と連携して継続的に実施していく。

令和 2年度（3年度決算）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	地域共生社会推進室
	施策	地域福祉の推進		電話番号	087-839-2372
	基本事業	地域福祉活動の充実		事業実施主体	市
	事務事業	若者育成支援推進事業		事業期間	平成 29年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	社会生活を営む上での困難を有する若者を支援するため、高松市若者支援協議会を設置し、協議会を構成する関係機関の情報交換を行うとともに、相互に協力・連携することで、若者それぞれの置かれた状況等にきめ細やかに対応できる支援体制を構築する。				
2年度概要	協議会の開催 代表者会議 1回/年 実務者会議 1回/年				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）	

【事業の目的】

対象（何を）	ひきこもり・ニート・貧困等の困難を有する若者（15歳～39歳）
意図（どのような状態にしたいか）	ひきこもり・ニート・貧困等の困難を有する若者が、健やかに成長し、持てる能力を生かし自立・活躍することができるようにする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
協議会等の開催回数	回	3	1	1	2	3

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
成果指標	協議会の構成団体数	団体	目標値	26	27	27	27	27
			実績値	26	27	27		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 高松市若者支援協議会代表者会議において、6つの分野の機関に協賛機関として協議会に参加いただき、支援を必要とするニーズについての分析結果の情報共有を図れた。 (目標達成度)							(達成度) 100.0% 35点
								(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 29年度（決算）	平成 30年度（決算）	平成 31年度（決算）	令和 2年度（予算）
トータルコスト	[千円]	5,477	4,342	8,390	8,457
（事業費）	[千円]	166	561	43	110
（職員人件費）	[千円]	5,311	3,781	8,347	8,347

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 困難を有する若者とその家族がどのような支援を求めているのかを把握するためアンケート調査を実施し、調査内容を分析した資料を活用し、高松市若者支援協議会代表者会議で意見等を求めた。しかし、効果的な支援施策までには至らなかった。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 引き続き、困難を有する若者とその家族のニーズを把握するとともに、支援機関の意見等も聴きながら、高松市若者支援協議会で、より効果的な支援施策を検討していく。			

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	地域共生社会推進室
	施策	地域福祉の推進		電話番号	839-2372
	基本事業	地域福祉活動の充実		事業実施主体	市
	事務事業	高松型地域共生社会構築事業		事業期間	平成30年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	子ども・高齢者・障がい者など全ての人が地域で暮らし、生きがいを共に創り、高め合えることができる「地域共生社会」の実現のため、まるごと福祉相談員を配置し、地域の拠点や複合的課題を抱えた世帯等を訪問し、支援につなぐとともに、総合センター等による福祉相談窓口を設け、分野別の適切な支援を受けられる環境づくりを進める。子どもに関する諸問題に対応するため、コーディネーターを配置し、相談支援体制の整備や関係機関とのネットワーク構築を図る。				
2年度概要	まるごと福祉相談員の配置（4名） 事業周知啓発チラシ作成・配布 国の研修会参加等 つながる福祉相談窓口の設置準備、消耗品購入等 子どもの未来応援コーディネーターの配置（1名）				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト 1-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）	


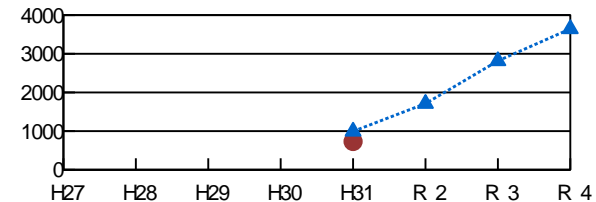

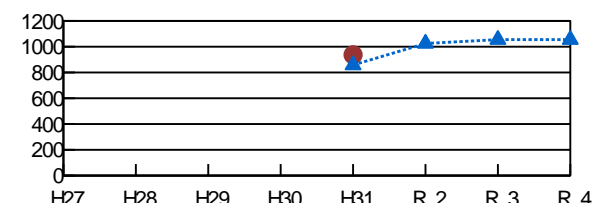
【事業の目的】

対象（何を）	高松市内在住の複合的課題を抱える高齢者・子ども・障がい者など支援を要する方・関係行政機関・団体、地域の企業、NP、自治会その他の関係者など
意図（どのような状態にしたいか）	高齢者・子ども・障がい者などの分野にかかわらず、地域の多くの福祉課題について「まるごと福祉相談員」や地域の身近な拠点である総合センター等で、福祉の相談を受け付け、支援をコーディネートすることでワンストップサービスの向上を目指すとともに、住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる活動を推進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
まるごと福祉相談員の配置	人			3	4	4
コーディネート研修会・勉強会等開催数	回			4	4	4

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
アウトリーチ（地域での情報収集・戸別訪問等）件数	件	目標値			994	1,712	3,644
		実績値			732		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 勝賀・香川・牟礼総合センターエリアにおいて、まるごと福祉相談員を各1名配置してアウトリーチを行い、必要な支援を包括的にコーディネートできた。 		(目標達成度)					(達成度) 73.6%
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 市職員や関係機関・団体、企業、地域等からの研修会等への参加者が増加することで、地域共生社会の実現に向けた取組や子どもの貧困問題の認識が深まり、それらとのネットワークが強化された。 	人	(目標達成度)					(達成度) 109.2%
研修会・勉強会等参加者数	人	目標値			858	1,025	1,055
		実績値			937		

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[円]			46,155	52,765
（事業費）	[円]			17,321	23,931
（職員人件費）	[円]			28,834	28,834

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	----------	--------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

まるごと福祉相談員を、牟礼・香川総合センターエリアに拡充して配置したほか、勝賀総合センターに、つながる福祉相談窓口を開設した。さらに、まるごと福祉相談員や、つながる福祉相談窓口に寄せられた相談を、内容等に応じた適切な専門機関や、民間団体等のサービスにつなげるため、相談支援体制のネットワーク構築にも取り組んだ。
また、子どもの貧困対策コーディネーター事業を紹介するリーフレットを配布するなど、連携による関係機関相互の情報共有とネットワークの構築の重要性を周知・啓発した。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

福祉施策の縦割りの壁を超え、包括的な形で、市民・行政・関係機関が助け合う人的ネットワークを確立して、高松型の地域共生社会を構築する。
また、子どもの貧困対策について、連携による関係機関相互の情報共有とネットワークの構築の重要性を周知・啓発するとともに、より確実な支援につなげるために、関係機関・団体等を対象にコーディネート力を高める研修を実施し、連携の強化を図っていく。

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	健康福祉総務課
	施策	地域福祉の推進		電話番号	
	基本事業	地域福祉活動の充実		事業実施主体	市
	事務事業	小規模法人のネットワーク化による協働推進事業		事業期間	平成3年度～

【事業全体概要】

事業の概要	社会福祉法において、社会福祉法人が実施することが責務化されている「地域における公益的な取組」について、職員体制の脆弱性等から、単独で実施することが困難な小規模法人が、複数参画し、ネットワークを構築するとともに、各法人それぞれの強みを活かした地域貢献のための協働事業を実施するもの。				
2年度概要	生活困窮家庭に対する相談支援及び学校用品等リユース事業 移動支援サービス事業				
重点取組事業		市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）	


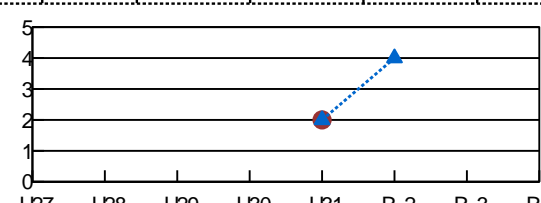
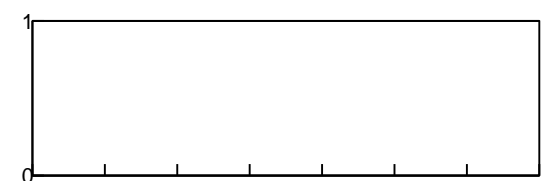
【事業の目的】

対象（何を）	小規模法人（1の法人において1の施設又は事業所のみを運営しているような法人）
意図（どのような状態にしたいか）	小規模な法人を含め、地域の様々な福祉サービス提供機関が連携し、地域貢献のための取組が促進されるよう、その環境整備を図ることを通じて、地域における福祉サービスの充実とともに、重層的な支援体制の構築を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
参画小規模法人数	法人			18	18	30

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
ネットワークにおいて実施した事業数	件	目標値			2	4	6
		実績値			2		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） ・香川おもいやりネットワーク事業高松市参画法人連携会議を開催（12法人参加）し、事業の現状、課題及び相談事例報告を行い、効果的な事業推進に繋がった。 ・生活困窮家庭に対する相談支援及び学校用品等リユース事業（8法人参加）し、各施設に、学用品等の回収ボックスを設置し、生活困窮家庭への支援に繋がった。 		(目標達成度)					(達成度) 100.0% 35点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)		(達成度)					(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[千円]			6,076	10,276
（事業費）	[千円]			3,800	8,000
（職員人件費）	[千円]			2,276	2,276

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	----------	--------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

事業開始初年度の昨年度、高松市社会福祉協議会に委託をして事業を実施した。生活困窮家庭に対する相談支援及び学校用品リユース事業に8法人が参加し、各施設に学用品等の回収ボックスを設置し、生活困窮家庭への支援に繋がった。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

新たに、移動支援サービス事業を実施し、日常の買物や通院等の外出が困難な方に対する支援を実施する。また、参画する法人数の増加を図る。